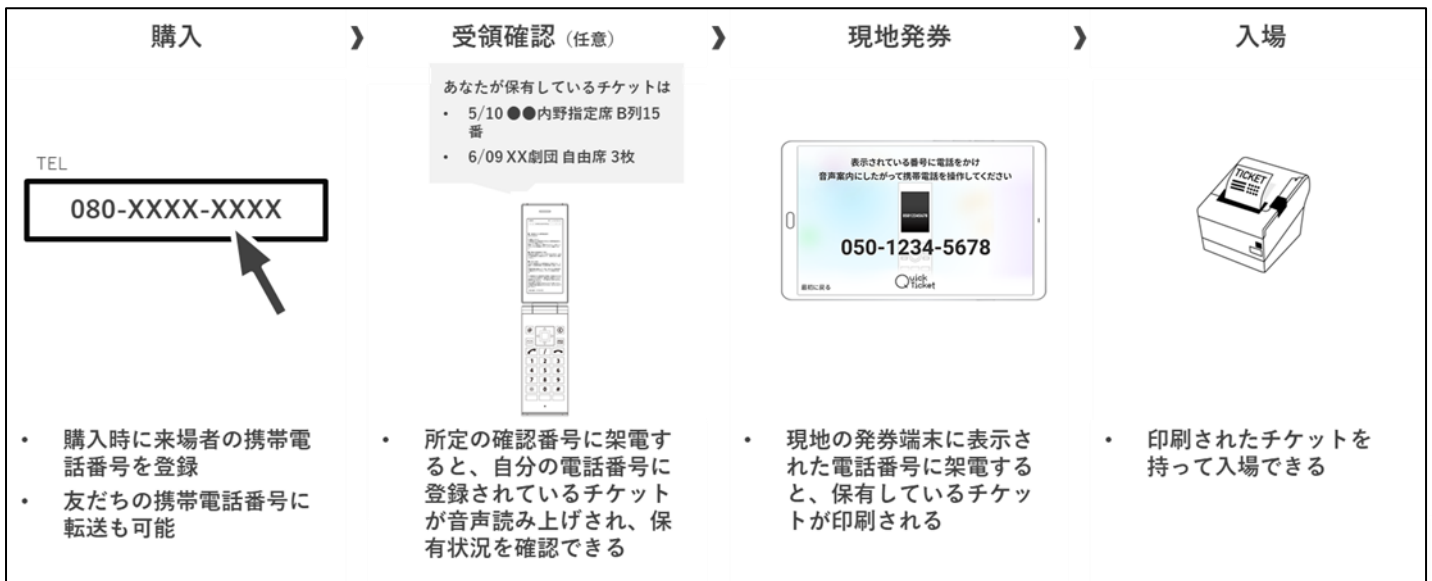


## コミュニケーション型電子チケット発券サービス「Quick Ticket」が非スマートフォンに対応 世界初のガラケー対応の電子チケット発券サービスを開始 ガラケーでも、スマホでも、会場で電話をかけるだけで簡単発券が可能に！

playground 株式会社（東京都渋谷区、代表取締役：伊藤圭史、以下 playground）が提供しているコミュニケーション型電子チケット発券サービス「Quick Ticket」の新機能として、非スマートフォンに対応した世界初となる“電話番号認証<sup>\*1</sup>”による電子チケット発券を2018年6月1日(金)より開始いたしました。これにより、非スマートフォンの携帯電話（ガラパゴス携帯）の所有者の方も、「Quick Ticket」をご利用いただけるようになります（導入イベントは適宜拡大予定）。



近年、不正転売防止や利便性向上などを目的として、電子チケットへの注目が高まっています。しかし、電子チケットはスマートフォンにのみ対応し、ガラパゴス携帯では利用できないケースが多くありました。

今回 playground では、世界初となる“電話番号認証”による発券システムを開発し、「Quick Ticket」の新機能として追加いたします。これによりスマートフォン、ガラパゴス携帯の両方で電子チケットのメリットを提供可能になります。利用者は電子チケット購入時に登録した携帯電話番号から発券専用端末に表示された電話番号に発信するだけで、簡単にチケットを発券することができます。また、同伴者の電話番号を事前に登録することで、同伴者の携帯電話からも発券が可能になり、利便性も向上します。

一方導入企業にとっては不正防止の効果があります。これまで、非スマートフォンでも利用可能な電子チケット規格である QR コードには、複製がしやすいという弱点がありました。しかし今回の機能では各携帯電話に割り当てられたユニークな電話番号による認証をすることから QR コードに比べ複製、不正譲渡の難易度が格段に向上します。また、手軽な運用を前提に小型化された発券専用端末は、運搬が可能になり会場設置・撤収を簡単に行うことができます。さらに、電話番号をベースとした来場者の情報取得ができることから、今まで以上に多くのデータを活用したマーケティング活動に取り組むことが可能になります。

今後も playground では、スマートフォン、ガラパゴス携帯に関わらず、より多くの方に電子チケットをご利用いただける環境の構築を目指し、電子チケットの流通の健全化、効率化、コントロールに取り組んでいきます。さらに、電子チケットを起点としたイベントの顧客体験価値向上や、イベント周辺地域の活性化等、これまで以上にエンターテインメントを楽しめる施策を行ってまいります。

\*1…ガラケー対応による電子チケット発券サービスは、playground が開発し、特許申請中です。

## 【「Quick Ticket」の“電話番号認証”システム】

電子チケット購入時に、電話番号を登録することで、会場に設置されたチケット発券端末に表示される電話番号に、登録した電話番号の携帯電話から発信すると認証。チケット発券端末から紙チケットが発券される世界初のシステムです。

### ■利用者のメリット

メリット① 非スマートフォンでも利用可能なユニバーサルデザイン	メリット② 分配機能により別々な場所・時間でも簡単に入場できる	メリット③ 電子チケット購入者も、会場で紙チケットを手に入れられる
スマートフォンでも、ガラパゴス携帯でも関係なく利用できるため、今まで電子チケットを使うことができなかった方でも、簡単に電子チケットを利用することができます。	従来の電子チケットや紙チケットでは、複数枚のチケットを購入した場合、チケットの購入者とともに同伴者が入場しなければならない等の不自由さがありました。分配機能により、電子チケット購入時に同伴者の電話番号を登録することで、それぞれの携帯電話から発券が可能になり、余計な待ち合わせや団体行動が不要になります。	電子チケットはデータのため、実物として保管やコレクションができませんでしたが、会場で紙チケットを発券することができるようになり、手元に記念として残すことができます。

### ■導入企業のメリット

メリット① 窓口業務が不要で、人件費削減	メリット② 小型端末により、スペースも手間も削減	メリット③ 世界初の“電話番号認証”システムで不正防止	メリット④ 電子チケットを起点に、データ取得範囲の拡大
会場にチケット発券端末を置き、チケット利用者が端末に表示される電話番号に電話をかけるだけなので、発券窓口や大型発券機が不要となり、通常のオペレーション以上の人員配備が必要ありません。	従来の大型発券機とは異なり、チケット発券端末は長机に置くことのできるコンパクトサイズのため、小規模スペースに設置可能です。また、手で簡単に運ぶことができ、準備・撤去も短時間で行うことができます。	電子チケット購入時に登録した電話番号でのみ発券ができるため、不正なチケット転売を防止することができます。また、会場のチケット発券端末に表示された電話番号を確認し、会場外の携帯電話から発信しても発券することができない仕組みも導入しています。	これまで「Quick Ticket」では、スマートフォンを活用し、メールやSNSにより来場者情報を取得していました。今回の電話番号を利用したシステムの提供によって、非スマートフォンユーザーの情報も取得することが可能になり、より多くの来場者情報を利用したマーケティング活動に取り組むことができます。

## 【コミュニケーション型電子チケット発券サービス「Quick Ticket」】

「Quick Ticket」は、チケット販売事業者が「LINE やメールで発券<sup>\*1</sup>して物理スタンプでモギれる<sup>\*2</sup>電子チケットサービス」を簡単に導入できるクラウドサービスです。

導入企業は自社のチケット販売・管理システムと「Quick Ticket」を API 連携するだけで電子チケットサービスを開始でき、来場者は専用アプリをダウンロードする手間なく電子チケットを使えます。電子チケット特有の運用上の負荷（アプリストア・端末仕様の変更対応、システムメンテナンス、現場運用設計 等）も playground にお任せいただけるため、導入企業はトレンドに則した最新の電子チケット機能を負荷なく利用し続けることができます。

「Quick Ticket」は今後、各社が独自電子チケットを開発することで発生している「現場業務の混乱」や「開発・運用コスト増加」といった問題を解決するため、「電子チケットの標準規格」を目指して開発を進めて参ります。

・「Quick Ticket」の詳細はこちら URL: <https://quickticket.live/>

\*1…LINE/Facebook 等のコミュニケーションアプリを介した電子チケット発券は playground による世界初の取り組みです。（特許出願済）

\*2…スマホに直接押印できる「電子スタンプ」は playground が開発し、国際特許を保有する技術です。

## 【playground 株式会社】

エンターテインメント業界に特化した技術開発、コンサルティングを行うデジタルファームです。主力事業である「Quick Ticket」は、埼玉西武ライオンズ、サンリオやパルコ（劇場）等の大手企業に導入されており、電子チケットの新しいカタチを提供しています。リアルイベント運営における様々な課題の解決に加え、イベント体験の楽しさを何倍にも増幅させる仕組み作りを、デジタルの力で支援をいたします。エンターテインメントビジネスをデジタルの力で変革するべく、デジタル×エンタメの新しい挑戦を続けています。

- 社 名 : playground 株式会社 (playground Co., Ltd.)
- 代 表 者 : 代表取締役 伊藤 圭史
- 所 在 地 : 東京都渋谷区渋谷 3-25-18
- 設 立 : 2017 年 6 月 1 日
- 事 業 内 容 : 電子チケット発券システムの提供/ コンサルティングサービスの提供
- U R L : <https://playground.live>

